

# 歴史的事象を根拠に基づいて考察し、 時代の特徴を表現できる力の育成 ～資料の読み取りと発表活動を通して～

特別研修員 地理歴史 反町豊（高等学校教諭）

## 【現状と課題】

知識を習得することに終始し、自ら考え自分の言葉で表現することが苦手である

## 【実践1】

「第一次世界大戦が社会に与えた影響は何か？」

## 【実践2】

「新文化運動の目的は何か？」

＜手立て1＞ 資料から時代背景や作者の意図を読み取る

プロパガンダポスターから、国家の意図を読み取る。

《使用したポスターのキャッチコピー》

- ・THESE WOMEN ARE DOING THEIR BIT  
LEARN TO MAKE MUNITIONS  
→女性たちは役割を果たしている。  
弾薬の作り方を学ぼう。
- ・THE KITCHEN IS THE KEY TO VICTORY  
EAT LESS BREAD  
→台所は勝利へのカギ。  
パンをあまり食べないようにしよう。

魯迅の作品から、時代背景や作者の意図を読み取る。

《使用した文学作品》

- ・魯迅『呐喊(とつかん)』「自序」  
→医者になることを目指し、日本に留学していた魯迅が、文学を志すようになったきっかけが描かれている作品。
- ・魯迅『狂人日記』  
→儒教思想を中心とする中国の古い社会制度を批判した作品。

＜手立て2＞ 資料から読み取った根拠をグループ内で発表する

4人程度での発表



国民の生活を巻き込んだ戦争だった

国民を戦争に協力させる必要があった

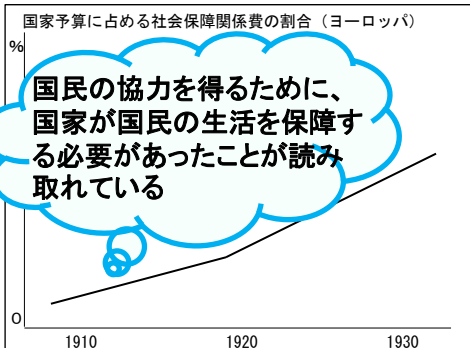
魯迅は中国人の精神を変えたかった

袁世凱による専制政治も古い体制だ

＜手立て3＞ 時代の特徴を考察し、自分の言葉で表現する

《生徒の記述》

総力戦を経験した各国の社会保障関係費はどうか？



《生徒の記述》

新文化運動で魯迅が伝えたかったことは何か？

「他国の言いなりになっている中国を変えなくてはならない。そのためには、中国人の精神の改革が必要だ。儒教思想を批判し、古い体制を変えなくてはならない。」

中国人の意識改革と、儒教思想に代表される旧体制への批判について説明している

## 【○成果と●課題】

○グループで発表し合うことにより、考えが深まり、根拠に基づいた表現をすることができた。

●明確な根拠を与える資料の選択、時代背景に関する知識の提示が必要である。